

**消** こんにちは！  
生活相談室です 95  
消費生活相談室 (☎47-1106 FAX44-7957)

**りんごやみかんの押し売りにご注意**  
りんごやみかんなどの訪問販売に関するトラブルが年々増加し、「強引な販売で断りきれず、大量に買わされた」といった相談が全国的に拡大しています。ほとんどの相談が、販売者名も連絡先もわからず被害回復が難しい状態です。

**事例1**  
なまりのある若い男女が訪ねてきて、みかんを試食させられた。しつこく勧められたので1kgだけ買うことにしたが、10kgの箱を出され1万4千円を請求された。「こんなに食べきれない」と断ったが強引に押し切られた。

**事例2**  
「産地でりんごの生産農家をしている」と言いつて訪

ねてきた者に試食を勧められ、おいしかったので購入したが、箱の中身の半分以上が傷んでおり、他のりんごも試食したものと違いがわかりました。苦情を言いたいのが、相手の名前や連絡先がわからない。

**アドバイス**  
◇玄関を開けたり、「味見してみよう」といわれ試食をしてみようと断りにくくなってしまう。ドアを開ける前にまず訪問の目的を確認し、必要なければきっぱりと断りましょう。  
◇果物を訪問販売で購入した場合、クーリングオフが可能ですが、相手の連絡先がわからない場合はそれも難しいので安易に購入しないこと。  
◇トラブルにあつたら早めにご相談ください。お金をだまし取られたらすぐに警察に届け出ましょう。

**相談受付時間** 毎週月～金曜日  
午前9時～正午・午後1時～4時

**み** んなで拓く人権文化 81  
地域振興課人権政策室 (☎47-1102)

**人権問題として捉えることから**  
「人権」という言葉から、どんな印象を受けますか。「とても大切なもの」「それとも「堅苦しくて自分には関係ないもの」でしょうか。「人権」とは、「だれもが生まれながらに持っている、自分らしく幸せに生きる権利」であり身近で大切なものです。子供たちには、「命を大切にすること」または「みんなと仲良くすること」と教えていきます。では、現実の社会ではどうでしょうか。子どもが保護者から虐待を受けたり、女性がパートナリーから心身に暴力を受けたり、または、高齢だから障がいがあるから、同和地区の出身だから、外国人だからというだけで差別を受けることもあります。どれも悲しくて痛ましい人権問題です。

このほかにも、人権課題として挙げられる事柄がありますので、次にいくつか紹介します。  
◇刑を終えて出所した人 就職差別などがあります。これらの人の社会復帰には、本人の強い更生意欲と併せて、周りの人々の理解と協力が重要です。  
◇犯罪被害者等 直接的な被害のほかに、噂や中傷により傷つけられたり、プライバシーを侵害されたりするなど、二次的な被害を受けることがあります。  
◇インターネット上での差別書込み等 匿名性を悪用して、個人の名誉やプライバシーを侵害する人権問題が起きています。  
◇性同一性障がい者 体の性と心の性との食い違いに悩みながら、周囲の心ない好奇の目にさらされたりして苦しんでいる人々がいいます。これらの人権問題として捉え、差別や偏見をなくし、理解を深めることが大切です。

**今月のサロンコンサート**

**「ひっくり返ってシャウト！ リズムあふれる音楽おもちゃ箱」**  
月とき・ところ 4月23日(金)午後7時30分～8時40分  
文化ホール(入場無料)  
月出演 はたがさき・ふあみりー・ばんど  
3つの家族が集まって、結成32年を迎えた「はたがさき・ふあみりー・ばんど」さん。ビートルズの初期の曲など、カントリー、ロック、ブルースまでさまざまなジャンルの音楽をお届けします。  
(問合せ先 生涯学習課文化体育係 ☎47-1093)

**人権問題研修会に講師を派遣します**

人権問題研修会を計画している企業や団体などに講師を派遣します。

気軽にご相談ください。  
◇問合せ先 地域振興課人権政策室 (☎47-1102)

**図書館に行こう！**

(市民図書館 ☎47-1099)

あのおぼんへのやの創始者 山本ばあちゃん文庫だよりの巻頭文集。詩のような味わいとあふれ出るやさしさ。

『続 ばあちゃんのえほんへのや』  
山本ますみ・作  
佐古真知子・絵

月に住んでいる妖怪「桂男」によって巨大化された昆虫が大暴れ。一方、鬼太郎は一寸法師に、一体、なぜ？

『ゲゲゲの鬼太郎と きょうふの昆虫軍団』  
水木しげる

『だいたい いくつ?』  
ブルース・ゴールドストーン

心の響く小さな5つの物語

『心に響く 小さな5つの物語』  
藤尾英昭・作  
片岡鶴太郎・絵

5人の無・著名人の作文に藤尾氏の解説・感想と、内容に合わせた片岡氏の絵で構成。まさに心打たれる。

戦国時代の終わりを告げるべき国産暦がひとりの碁打ち、渋川春海によってなされようとするのだが・・・。

『天地明察』  
沖方丁

**今月の新規・寄贈図書**  
◇もう一度読みたかった本(柳田邦男)  
◇Nのために(湊かなえ) ◇キケン(有川浩) ◇北帰行(佐々木護) ◇日本開国(渡辺惣樹) ◇壊れやすいもの(ニール・ゲイマン) ◇アラサー世代のころの歪み(川原健登) ◇メス化する男たち(オス化する女たち(渡辺淳一) ◇漢籍伝来(静永健) ◇教えずの井戸(京極夏彦) ◇乱神(高嶋哲夫) ほか計114冊



水木しげるのロードに整備され、観光客でにぎわう現在の本町交差点



本町交差点で共同募金の呼びかけ(昭和35年頃)

**あの写真 この写真**

文化財めぐりをしばらく休憩いたします。今後機会あるごとに文化財をお伝えしていきます。新企画として、一枚の写真を紹介いたします。その時を読み解き懐かしんでください。

市制になって4年、足立実初代市長は「港湾を有する産業文化都市」を掲げ、フェリーボート就航、市域に上水道給水開始、境港管理組合の発足、第二中学校開校、中浜小学校移転、航空自衛隊の美保基地移管、自動即時通話開始、新市庁舎起工、外港一万吨岸壁工事着手と新都市建設を推進していました。

この写真は、その頃の本町での赤い羽根共同募金の呼びかけをしているところです。

市長の後ろに中村実三議長(中村市長の父)、影から昼過ぎ一時頃でしょうか、買物客に笑顔で接しています。

場所は、バス停でもあった日の丸食堂(元小島呉服店)前で、貝田薬局・幾多楼・権田玩具店など懐かしい看板が見えます。ボンネットバスは車体を擦れ合うように交差し、買物客はその間をすり抜けていました。アーケードは昭和39年に竣工します。

50年経過した今の水木しげる記念館とロードのにぎわいを、足立市長が見られたらどんなに驚かれるでしょうか。

この先50年後の予想は難しいですが、外国船がひしめき国際色豊かな境港となっていることは間違いありません。

(市史編さん室 小灘浩)